

IFRS news

米国におけるIFRSの最新情報

December 2015

国際財務報告基準(IFRS)は米国で依然として注目を集めており、それは単一の高品質な国際会計基準に関する米国証券取引委員会(SEC)の最近のコメントからも明らかです。PwCアカウンティング・コンサルティング・サービスのJohn McKeeverが、なぜIFRSは今でも米国で重要なのか、その理由を解説します。

米国におけるIFRSの強制適用に関して、「適用するか否かではなく、いつ適用するか」という表現はもはや聞かれません。最近では米国の強制適用に向けた動きにほとんど進捗がみられないのです。今では、米国で近い将来にIFRSが強制適用される可能性が低いことを誰もが知っています。

SEC主任会計官のJames Schnurr氏は、2015年6月のスピーチの中で、米国におけるIFRSの将来的な見通しについて説明しました。Schnurr氏は、「IFRSを葬り去るべき」と示唆した元SEC委員長の提言に言及し、その発言がいかほど早計だったか述べました。最後に、Schnurr氏は、利害関係者からは米国会計基準(US GAAP)の代わりにIFRSを全面的に強制適用する、または適用する選択肢を認めることに対する支持がないようであるが、これは我々が単一の高品質な国際的に認められる会計基準を達成するという基本的な目的を「葬り去る」ことを意味するものではない、と述べました。

Schnurr氏は、さらに、米国財務会計基準審議会(FASB)と国際会計基準審議会(IASB)の両審議会がこの目的の達成に向けて引き続き協働することが極めて重要であると述べました。また、Schnurr氏は、米国国内の公開企業が、ファイリングで義務付けられているUS GAAP適用財務諸表の補足資料としてIFRS財務情報を任意で開示することを容易にする規則の制定を検討中です。

予測可能な将来に米国がIFRSを適用する可能性は高くありませんが、規模の大小や公開・非公開にかかわらず多くの米国企業にとって、IFRSはますます目的適合性が高くなっています。

その主な理由は以下となります。

- 1) 国境を越えたM&A活動
- 2) 米国国外の利害関係者に対する報告ニーズ
- 3) 米国国外の子会社のIFRS財務報告の要求

このように、米国では財務言語の「バイリンガル」化がますます重要になっています。

投資家の観点からは、IFRSを理解する必要性はほぼ間違いなく高まっています。米国の投資家は投資機会を求めて海外に目を向け続けています。最近の推定値によれば、9兆米ドル超の米国資本が外国証券に投資されています。米国市場はIFRSを用いて財務諸表を作成する外国企業に門戸を開き続けています。現在、US GAAPへの調整表なしにIFRSを適用している外国登録企業の本数は500社を超え、その時価総額は数兆米ドル以上となっています。

コンバージェンスの時代は終わりに近づいていますが、両審議会の共同努力が生んだ会計基準の変化による影響は大きく、その中で2つの会計フレームワークは(例えば、新収益認識基準によって)歩み寄りをみせてきました。

両審議会は、もはやほとんどの領域において共同作業を行っていませんが、2つのフレームワークの間の差異の除去は継続されています。最近の例の一つに、非継続事業の財務報告に関連するUS GAAPの変更があります。新ガイダンスはIFRSと実質的に整合するものとなりました。

US GAAPとIFRSの間の差異の減少により、米国はIFRS適用に近づくのでしょうか、あるいは、遠のくのでしょうか。答えは「時のみぞ知る」でしょう。しかし、少なくともSEC主任会計官が単一の高品質な国際的に認められる会計基準を支持していることは明らかです。次の問いは、この目的を達成するための方法は何か、です。